

《文しょうもんだい 6》

文しょうもんだいをやってみよう。答えを文しょうの中からみつけよう。

【れいだい】

つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

カズオくんが遠くの町にひっこしてから、もう一週間がたっていた。

ぼくは、一日がこんなに長かったなんて思いもしなかった。カズオくんがいないと、何をやってもつまらなくて、時間がたつのがおそいんだ。

今日は家に帰ったら、カズオくんが電話をしようかな。そう思って家に帰ると、おかあさんから一通のふうとうをわたされた。見ると、カズオくんの名前が書いてあった。ぼくは、にやにやわらいながら、いそいで自分のへやに行つてふうとうをあけた。

(1) — ①線ぶ「一日がこんなに長かった」のは、なぜですか。アからウからえらぼう。

ア ぼくにはやることなく、毎日ひまだったから。

イ カズオくんがいなくなってつまらないので、時間のたつのがおそいようにかんじるから。

ウ カズオくんからの電話をまっけて、一日が長くかんじたから。

(2) — ②線ぶ「ぼくは、にやにやわらいながら、いそいで自分のへやに行つてふうとうをあけた」ときのぼくの気もちを、アからウからえらぼう。

ア かなしい

イ おもしろい

ウ うれしい

【答え】

(1) イ (2) ウ

【かいせつ】

(1) 「カズオくんがいないと何をやってもつまらなくて、時間がたつのがおそい」と文しょうにあるのでイが答えになります。

(2) 自分から電話をしようと思っていたカズオくんから手紙がきて、ぼくがわらっているので「うれしい」が答えになります。

つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

ぼくは朝あさから して、朝ごはんもあまり食たべずに家いえを出た。

きょうは、じゅぎょうさんかんの日なのだ。みんなのおとうさんやおかあさんなど、家の人がたくさんぼくたちのじゅぎょうを見に来る。

たくさんの人が来るといっただけでも、きちょうする。そのうえ、ぼくはクラスのみんなをだいひょうして、国語こくごの時間じかんに作文さくを読むことになっっているのだ。

ぼくは、みんなの前まえでしっばいしないように、作文のないようをなんども頭あたまの中なかでくりかえしていた。

(1) ☐ に入ることばを、アからウからえらぼう。

ア ときどき

イ うきうき

ウ のろのろ

(2) ぼくは、きょうの国語の時間じかんに、何なにをするこ
とになっていますか。☐ に入ることばを書かこう。

ぼくは

して、国語の時間じかんに

ことになっっている

(3) 線せんぶ「作文のないようをなんども頭あたまの中なかでくりかえしていた」ときのぼくの気もちを、アからウからえらぼう。

ア 自分じぶんの作文をなんども思おもい出すくらい、自分の作文がよくできたという気もち。

イ 作文をスラスラ読んで、みんなの前まえでしっばいしないようにしようという気もち。

ウ たくさんの人が来ることを考かんがえるときんちょうするので、作文で頭あたまをいっばいにしようという気もち。

つぎの文ししょうを読んで、といに答えよう。

いよいよ、この日がきた。わたしは朝から元氣よくとびおきて、いつもより早く学校にむかいました。

きょうからわたしたちのクラスに、ねったい魚がなかま入りするのです。ねったい魚というのは、金魚みたいな魚ですが、金魚よりもキラキラしてとてもきれいなのです。□、ねったい魚がくるこの日を楽しみにしていたのです。

学校につくと、時間はいつもより早いのに友だちがたくさんいました。一番にねったい魚を見ようと思っていたわたしは、すしがつかりしました。だけど、水そうできれいなしっぽをふっておよぐねったい魚を見て、そんな気もちはふつとんでしまいました。

(1) 線「わたしは朝から元氣よくとびおきて、いつもより早く学校にむかいました」とありますが、このときのわたしの気もちを、アからウからえらぼう。

ア ねぼうしてしまったので、早く学校に行かなくちゃという気もち。

イ 早く学校に行ってねったい魚を見ようと友だちとやくそくしたから、いそごうという気もち。

ウ いつもより早い時間に学校に行って、一番にねったい魚を見ようという気もち。

(2) □に入ることをばを、アからウからえらぼう。

ア だから

イ でも

ウ さて

(3) ねったい魚は、どんなようすでおよいでいましたか。□に入ることを書こう。

水そうで

およいでいた



つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

ぼくは朝^{あさ}からきんちようして、朝^{あさ}ごはんもあまり食^たべずに家^{いえ}を出^でた。

きようは、じゅぎようさんかんの日^ひなのだ。みんなのおとうさんやおかあさんなど、家^{いえ}の人がたくさんぼくたちのじゅぎようを見^みに来^くる。

たくさんの人が来るといふことだけでも、する。そのうえ、ぼくはクラスのみんなをだいひょうして、国語^{こくご}の時間^{じかん}に作文^{さく}を読むことになつてい^いるのだ。

ぼくは、みんなの前^{まえ}でしつぱいしないように、作文^{ぶん}のないようをなんども頭^{あたま}の中^{なか}でくりかえして^いた。

(1) どうしてぼくは、きんちようしていたのですか。☐に入^いることを書^かこう。

が来る

ということだけでなく、

して、国語^{こくご}の時間^{じかん}に、

ことになつてい^いるから

(2) ☐に入^いることを、アからウからえらぼう。

ア のろのろ イ うきうき

ウ ときどき

(3) —線^{せん}ぶ「作文^{ぶん}のないようをなんども頭^{あたま}の中^{なか}でくりかえして^いた」とき^{とき}のぼくの気^きもちを、ア

からウからえらぼう。

ア 作文^{ぶん}をスラスラ読^よんで、みんなの前^{まえ}でしつ

ぱいしないようにしようといふ気^きもち。

イ 自分^{じぶん}の作文^{ぶん}をなんども思^{おも}い出^ですくらい、

自分^{じぶん}の作文^{ぶん}がよくできたと^{かんが}いう気^きもち。

ウ たくさんの人が来^きることを考^{かんが}えるとききんちようするので、作文^{ぶん}で頭^{あたま}をいっぱいにしようといふ気^きもち。



つぎの文しように読んで、とくに答えよう。

① きのうの夜、わたしはつぎの日のことを考える
となかなかねむれませんでした。

それでも、いつもの時間よりも早くとおきて
学校に行くとき、友だちがたくさんいました。わたしは、すこしがっかりしてしまいました。

早くから学校にみんなが来ているのは、きょう
からわたしたちのクラスに、ねったい魚がなかま
入りするからです。ねったい魚というのは、金魚
みたいな魚ですが、金魚よりもキラキラしてとて
もきれいなのです。□、ねったい魚がくるこ
の日をみんな楽しみにしていたのです。そんなみ
んなより早く、わたしは一番にねったい魚を見よ
うと思っていたので、がっかりしてしまいました。
だけど、水そうできれいなしっぽをふっておよぐ
ねったい魚を見て、そんな気もちがふっとんでし
まいました。

(1) — ①線ぶ「きのうの夜、わたしはつぎの日の
ことを考えるととなかなかねむれませんでした」
とありますが、このときのわたしの気もちを、
アからウからえらぼう。

ア ねったい魚が来て、生きものがかりのし

ごとがふえたらいやだなという気もち。

イ ねったい魚のことを考えるとワクワクす
る気もち。

ウ あしたはみんな学校に早く行く日だから
ねぼうができないという気もち。

(2) — ②線ぶ「わたしは、すこしがっかりしてし
まいました」とありますが、なぜですか。アか
らウからえらぼう。

ア わたしがそうぞうしていたねったい魚と
は少しちがったから。

イ 早くから来ていたたくさんの人で、ねっ
たい魚が見られなかったから。

ウ 早く学校に来て、一番にねったい魚を見よ
うと思っていたのにみんなが先に来ていたから。

(3) □に入ることを、アからウからえらぼう。

ア さて イ だから ウ で



つぎの文ししょうを読んで、といに答えよう。

せかいには、六つのたいりくがある。その六つのたいりくとは、ユーラシア・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリア・南きよくのことだと社会の時間にならった。

せかいの地図を見たら、北アメリカにふくまれるカナダは、日本よりもすぐ大きかった。ぼくは、日本がとても小さいことに

そのことをおかあさんに話すと、

「たしかに、日本はとても小さいね。でも、そんなにがっかりすることはないんだよ。日本はせかい中からたくさんの人が来るんだよ。小さくても、せかいに自まんできるところがないか考えてごらん。」

おかあさんにそう言われたぼくは、おいしいおすしを思いうかべて、

(1) カナダがあるたいりくを、文ししょうの中からみつけて書こう。

(2) ① に入ることを、アからウからえらぼう。

ア かなしくなった イ 楽しくなった
ウ うれしくなった

(3) ② に入ることを、アからウからえらぼう。

ア 日本にはいいところは何もなしと思った。
イ ほかの国にもおすしがあるのかなと思った。
ウ 小さい国でも自まんできることがあった
など思った。

(4) 文ししょうのないように合っているものを、アからウからえらぼう。

ア 六つのたいりくには、北アメリカと南アメリカのりよう方がある。
イ おかあさんも日本が小さいから、日本にすむのがいやになっている。
ウ ぼくはおすしを食べて、日本はいいところがある国だなと思った。



つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

せかいの地図を見たら、オーストラリアは日本よりもすごく大きかった。オーストラリアは、国が一つのたいりくになっているほどだ。ぼくは日本がとても小さいことに

そのことをおかあさんに話すと、

「たしかに、日本はとても小さいね。でも、そんなにがっかりすることはないんだよ。日本はせかい中からたくさんの人が来るんだよ。小さくても、せかいに自まんできるところがないか考えてごらん。」

おかあさんにそう言われたぼくは、おいしいおすしやおそばを思いうかべて、やっぱり日本もいいなと思った。

(1) 一つのたいりくになっている国を、文しょうの中からみつけて書こう。

(2) □に入ることを、アからウからえらぼう。

ア うれしくなった
イ 楽しくなった
ウ かなしくなった

(3) 文しょうのないように合っているものを、アからウからえらぼう。

ア とても小さい日本に、せかい中からたくさんの人が来る。
イ ぼくはそばを食べて、日本はいいところがある国だなと思った。
ウ おかあさんも日本が小さいから、日本にすむのがいやになっている。